

## グリーティング

— 一月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月 —

お月見は古くから日本人にとって大きな楽しみだったようです。特に秋は、ほとんど姿が見えない新月から、少しずつ満ちていく月に希望を託して十五夜(満月)を迎えます。そして名残を惜しむように十六夜(いざよい)、十七夜(立待月)、十八夜(居待月)、十九夜(寝待月)・・・と欠けていく月に風情ある名をつけて、秋の夜長を過ごしたのです。読書もいいですが、観月が趣味というのもなかなか風流でいいですね。 S.K



## 技工情報

### ~お勧めのバーについて~

前回の形成の際に全部鑄造冠と同様な鋭角を残す形態では破折を招くということをお知らせしました。基本的にオールセラミックの形成に準じていただければご理解しやすいと思います。

各社よりすでに、「オールセラミック用のバーキット」が発売されていますので、それらを使用すると、システムチックに形成が行えます。

